

# 向こう 1 か月の天候の見通し

## 中国地方（1 月 20 日～2 月 19 日）

広島地方气象台

### 予報のポイント

- 期間の前半は、気温がかなり低く、山陰を中心に降雪量がかなり多くなる可能性があります。
- 寒気の影響を受け、1 週目、2 週目、3～4 週目の気温は低く、向こう 1 か月を平均した気温も低い見込みです。
- 冬型の気圧配置が強いでしょう。このため、向こう 1 か月を通した山陰の降水量は平年並か多く、降雪量は多いでしょう。山陰の日照時間は少ない見込みです。

### 1 か月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
中国地方	山陰	低 <b>70</b> 並 20 高 10% <b>低い</b> 見込み	少 20 並 <b>40</b> 多 40% <b>平年並か多い</b> 見込み	少 <b>50</b> 並 30 多 20% <b>少ない</b> 見込み	少 20 並 30 多 <b>50%</b> <b>多い</b> 見込み
	山陽		少 30 並 <b>40</b> 多 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 30 並 <b>40</b> 多 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み	予報しません
		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
<p>数値は予想される出現確率です</p>					
		低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)	少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)	少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)	少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)

### 週別の天候

(1 週目) 1/20～26	(2 週目) 1/27～2/2	(3～4 週目) 2/3～16
高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、山陰を中心に雪や雨の降る日があるでしよう。	冬型の気圧配置が現れやすく、強まる時期があるでしよう。 山陰では平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。	冬型の気圧配置が強いでしよう。 山陰では平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、山陽では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1週目） 1/20～26	平均気温（2週目） 1/27～2/2	平均気温（3～4週目） 2/3～16
中国地方	低 80 並 10 高 10% <b>低い</b> 見込み	低 50 並 30 高 20% <b>低い</b> 見込み	低 50 並 30 高 20% <b>低い</b> 見込み

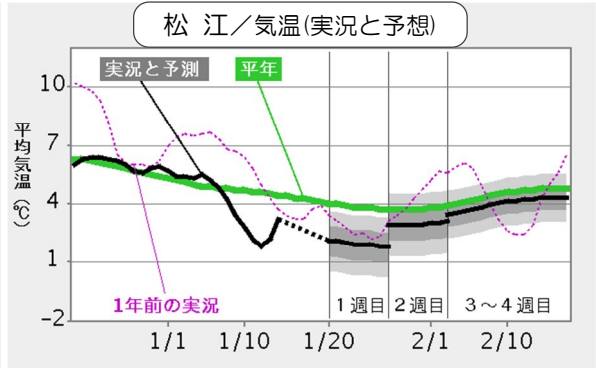
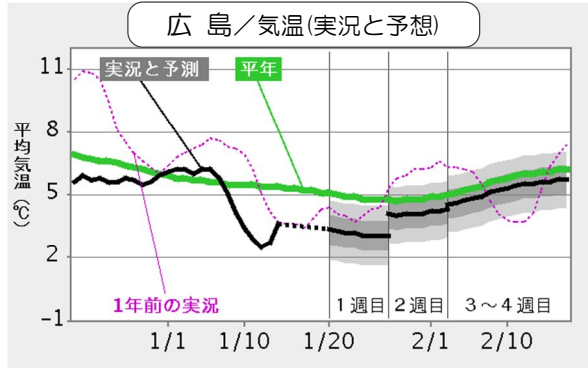
  

平均気温（1週目）

平均気温（2週目）

平均気温（3～4週目）

↑  
数値は予想される  
出現確率です



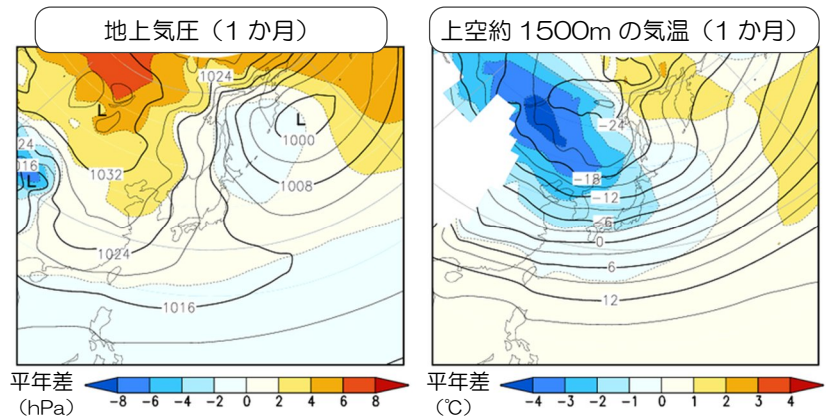
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、  
気象庁ホームページ  
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>  
で公開しています。

↑  
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、バイカル湖付近を中心にモンゴルから東シナ海、日本の南海上にかけて平年より高い予想で、シベリア高気圧は強いでしょう。一方、オホーツク海から北日本付近では、平年より気圧が低い予想で、日本付近では冬型の気圧配置が強い見込みです。

上空約1500mの気温（右図）は、シベリア付近を中心に日本付近にかけても広く平年より低い予想です。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

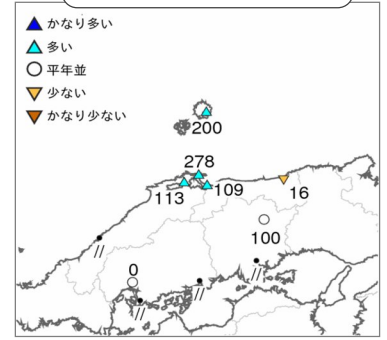
最近 1 週間の天候経過（実況）

1/11~17

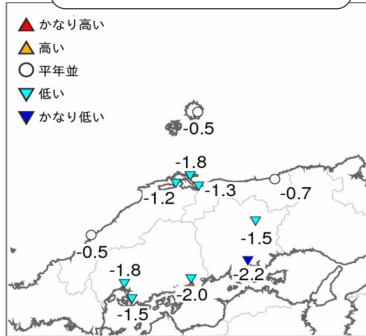
山陰や山陽北部では、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多くなりました。山陽南部では、期間の中頃にかけては、強い寒気の影響で雪の降った所がありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。終わりは気圧の谷の影響で曇りや雨となりました。

期間のはじめは強い寒気が流れ込み、中国山地を中心に大雪となり、交通障害などが発生した所がありました。

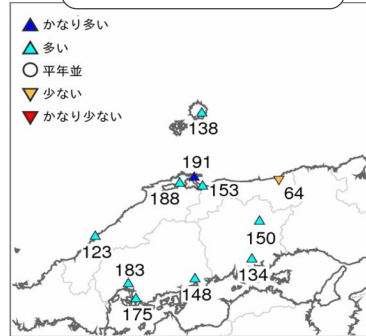
降雪量平年比 (%)



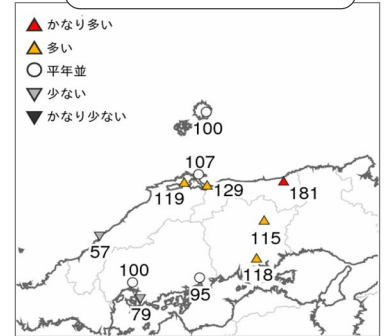
平均気温平年差 (°C)



降水量平年比 (%)



日照時間平年比 (%)



(実況) 1/11~17		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比	降雪量平年比
中国地方	山陰	-1.4°C (低い)	143% (多い)	116% (多い)	143% (多い)
	山陽		158% (多い)	101% (平年並)	—

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
中国地方	平年差: -0.3~+0.4°C	平年差: -0.5~+0.5°C	平年差: -0.6~+0.5°C	平年差: -0.4~+0.6°C
松江	3.8~4.5°C	3.3~4.4°C	3.2~4.3°C	4.0~4.9°C
広島	5.0~5.7°C	4.5~5.5°C	4.3~5.4°C	5.2~6.2°C

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)	降雪量 (1 か月)
山陰	平年比: 85~106%	平年比: 91~104%	平年比: 64~122%
山陽	平年比: 69~115%	平年比: 93~106%	—
松江	99.1~135.2mm	63.4~77.1 時間	22~44cm
広島	31.3~54.4mm	124.3~141.9 時間	—

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	6.7 日	15.7 日	1.2 日	4.1 日	1.5 日	4.0 日	4.0 日	7.6 日
広島	17.1 日	5.8 日	3.9 日	1.4 日	4.3 日	1.3 日	8.8 日	3.1 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 4.0% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない): 平年並: 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上 (20: 40: 40)	高い (多い) 見込み 平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上 (40: 30: 30) (30: 40: 30) (30: 30: 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40: 40: 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み